



◆一般投稿作品◆ 広報委員会

◆一般投稿作品◆ 広報委員会
シクラメン今朝も愛でつつ日あたりに
露の臺野の隅にあり自己主張
古釜で友集まりてたき火する
水仙の香りこめおき客を待つ
ひだまりの大きな椿蕾開く
ふきのとう摘みて余生の刻きさむ
紅を付け老の振り袖雛祭り
ふる里へ続く小道に枝垂梅
山茶花の紅散り敷くも尚濃ゆし
待ちわびし水仙の花雪の中
新春の竜馬空港日本晴れ
絵馬ゆれて杜の大樹に冬日燦
露のとう春一番の味秘めて
見張り立て博徒のごとき寒がらす
産土神の掃き納めなる大焚火
春一番庭の芝草青々と

◆かがみ野俳句会◆

絵手紙に添へる一言春近し
地の神を鎮めてまほろば野焼かな
土手焼きし煙のゆくへ国分寺
鈍音の一打一打に冴返る
大野火の炎心は神の宿る色
野火叩き桜の若木残しをり
悩みごと野火へ投げてみたくなる
土手焼きて一川の景定まりぬ

- 有澤 春江
森本 幸美
白井 幸子
小原 子川
小野寺朱実
森本 純喜
山崎 寿美
山崎 貴子
高野 和一
楮佐古きよ
北村千鶴子
原 すみれ
山本 太幸
福甲ともり
千頭 野草
岡村 和躬
佐竹 洋子
佐藤 幸
利根 弘子
古川 信子
小松 愛子
中澤 美晴
森本 健代
山崎 鈴子

◆菫句会◆
末黒野へ取り残されし野の祠
露地草履足音しのぶ敷松葉
間伐の済みて二日月果てにけり
人影の走り野焼きの始むらし
蛇塚の朽ち葉音無き雨の中
恙なき友の便りや福寿草
里の春繋ぐ木の橋石の橋
天平礎石一つを伝へ野火の里
窓少し開けて見てをり夜の雪
山里の分校を訪ひ梅の花
話しつつ母の髪解く春時雨
春めくや野菜の茎の伸びてをり
寝たきりの姑にチョコバレンタインの日
谷音に揺れ膨らみし猫柳
恋猫の寝付けぬ耳を遠ざかり
野焼の火収まり照るや七日月

◆かほく俳句会◆

薪爆ぜて春立てる日の長湯かな
雪止んで剪定の耳千切れさう
小正月孫に教へる田舎寿司
石垣の石の百態風光る
日溜りの溝に蠢く蛭蛉の群
初蝶に似し訪れのありにけり
露の臺野酌のすむほろ苦さ
寒の水たつぷり入れて葉飲む
足跡の残るみぎはの猫柳
大安の日に重ねたる初音かな
梅東風の畑を繕ふ昼さがり
春の香の満ちて夕餉の貧ならず
芽勺葉火種のごとく庭にあり

- 吉田 芳
公文 春紀
岡本かほる
高橋 章
篠崎 亜希
明石ゆきゑ
北村 幸子
甲藤 卓雄
國澤 英
野崎 典子
北村 里子
小野川順子
前田 芳子
明石 英子
中内ゆかり
竹内 ろ草
乾 真紀子
久保内鏡子
黒岩 幸女
黒岩千英子
小松 完
小松 隆之
小松 昇
杉山 春萌
野村 里史
前田 欣一
前田 秀女
間崎 和代
山崎かずみ

晴天に雪嶺はいよよ後じさる
槇山村消えて久しや山眠る
山境忘れぬ為と木の実植う
戸を開けて声をひそめて豆を撒く
もどる人冬満月へ送り出す
いつからか涙もろくて蓬餅
天に舞ふ鳥毛ひねりや梅二月
春が来て五段活用らりるれる
ひとときは野火にかくれし国分寺
生きさまの整理ぼつぼつ日脚伸ぶ
春寒し風のまさぐる紙の耳
駅ごとに汽車混んでくる春祭
顔洗う水も春立つ気配せる

◆土佐山田町俳句会◆

- 森本 之子
山中 晶子
山中 瑞輝
山中 明石
前田美智子
前田 菊恵
前田 小夜
安丸 慎子
明石 菲生
大石 邦男
橋本 昭和
樫谷 雅道
田村 一翠

◆今月のキラリ◆

産土神の掃き納めなる大焚火
新年を前に宮掃除を終えた氏子らが、たき火を囲んで談笑する様子が目に浮かぶ一句です。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。(ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句(首)以内)
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】香美市広報委員会事務局 俳句・短歌係
〒782-18501(住所不要) FAX 53・5958

香美市立美術館



会場に一步足を踏み入ると、美しい幻想空間が広がります。新年度初の企画展は、高知を拠点に活躍する写真家・桐野伴秋さんの幻想美術写真展です。

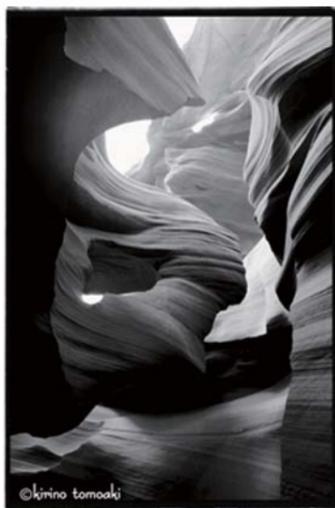
高知市生まれの桐野伴秋さんは、10代の頃、音楽を志して上京し、1985年にコロムビアレコードからデビュー、音楽活動を行います。その後、舞台プロデューサー等の仕事を経て、1994年頃から本格的に写真の道に入り、独自の技法による風景写真家として活動を始めます。世界遺産や

日本各地の風景など幻想的な作品を次々と発表し、オカリナ奏者・宗次郎のCDジャケットなども手掛けています。

2008年には、四国八十八ヶ所公式ポスターを手掛け、また、『アリゾナの宝石』といわれるセドナと周辺に広がる驚異の大地を撮った写真集『セドナ 奇跡の大地へ』が、講談社から出版され、大きな反響を呼びました。
写真の作品『光の神殿』も写真集の中の一点で、ローアー・アンテロープ・キ

桐野伴秋の世界 幻想美術写真展

4月3日(日)~5月15日(日)



▲光の神殿

- ★オープニングセレモニー 4月3日(日)14:00~
★桐野伴秋アーティストトーク 4月3日(日)・10日(日)、5月3日(火・祝) いずれも、14:30~ 展示室にて
★桐野伴秋とゲストとの対談 4月17日(日) 画家 加納果林 4月24日(日) 音楽療法士 ジョン・デュマス いずれも、14:30~ 展示室にて
★館長による作品解説 5月8日(日)・15日(日) 14:00~ 展示室にて

祝日も開館します

市立図書館

この度、皆さまのご要望にお応えして、4月から本館、物部分館も祝日に開館することになりました。

■各館の開館日・休館日
【本館・物部分館】
開館日：平日、土・日・祝

休館日：月曜日
※月曜日が祝日の場合、その後の最も近い平日
【香北分館】
今まで通りです。
開館日：平日、土・日・祝

休館日：火曜日
※火曜日が祝日の場合、その後の最も近い平日
3館相互に資料を返却、貸し出し、予約ができますのでご利用ください。

【問い合わせ先】
図書館本館 ☎ 53・0301

図書館だより

市立図書館

新着本の紹介(本館)

- ▽純平、考え直せ(奥田英朗)
▽妄想気分(小川洋子)
▽ポリティコン上・下(桐野夏生)
▽風景(瀬戸内寂聴)
▽逆説の日本史17(井沢元彦)
▽自分の始末(曾野綾子)
▽土佐戦国時代(畠山権治)
▽一刀斎夢録上・下(浅田次郎)
▽子育てのツボ(水谷修)
▽日本語感の辞典(中村明)
▽アバター(山田悠介)
【子ども向け】
▽ジュニア・日本の歴史①
④▽ちよつとした奇跡(緑川聖司)
▽おぼけのアツチほつべたべりりん(角野栄子)
▽学校で働く人たち(松井大助)
▽おにはそと(せなけいこ)
▽学研2 ユーコース中学1・2・3
英語、数学、理科、中学文章読解、英文法▽星と宇宙のふしぎ109(永田美絵)
▽まかせとけ(三浦太郎)